幼児組だより　「つながった新しい命　2023.なつ」

令和５年(２０２３年)９月１９日
発行：中央保育所
作成：あやめ組　加茂　理恵子

皆で育てていたカブトムシが寿命を終えました。カブトムシは約１か月～2 か月程しか生きることができず、メスのカブトムシは卵を産んだら死んでしまいます。この夏、愛情いっぱいに育てたカブトムシがきっと卵を産んでいるはず！と土をひっくり返してみることにしました。すると…。小さな幼虫の姿を発見！！

土交換

土が動いてるから
ここにもいるよ！

プリプリしてる！

かわいいね

「人間が直接触ると幼虫は病気になっちゃうんだよ」と知らせると、手で触らないようそっとスコップですくっていました。

卵があるかも…
見逃さないよう慎重に探していくと小さな幼虫を発見。「匂いと音で見つけられるよ」と言う子も。顔を土に近付け、目を凝らし探す姿は真剣そのもの！！

ここにもいた！
大きいね！！

土全体に濡らすんだよ

新居へお引越し！

水と新しい土を混ぜて飼育ケースへ…

土の量はこれくらいでいいにかな？

優しくかけてね

幼虫の体に優しく土をかけ、新しいふかふかの土のお家が完成！

「大きくなりますように！」
「巨大になりますように」
「ヘラクレスオオカブトになるかな？」
「黄金オニクワガタになりますように」
と元気に育つように祈りながら大好物の腐葉土がたっぷり入ったケースへとお引越しが完成しました。

玄関にいます！
会いに来てね

０5㎝～2㎝程度の大きさの幼虫がなんと 21 匹いました！年長組お手製の看板も付いて素敵なカブトムシのお家が完成！毎日土が乾かないようにと霧吹きで水を吹きかけて居心地良い環境になるようにお世話しています。
21 匹の命が来年もめぐりますように。
そして来年の夏に会えるのが楽しみです。